

## 令和元年度環境課関連イベント

## 令和元年度の環境課関連イベントなど（日程順）

1. 第44回市民植樹 【市民向け】→4～5ページ  
と き 令和元年5月25日(土) 10:00～11:45  
ところ 飛鳥山公園  
参加者 121人(公募の市民)  
内 容 公園を訪れた方が四季の変化を楽しめるように選定した、市の木「ナナカマド」や「エゾヤマツツジ」などを植樹した。
  
2. えべつ環境広場2019 【市民向け】→6～7ページ  
と き 令和元年6月22日(土) 10:00～20:00、  
6月23日(日) 10:00～16:00  
ところ 野幌公民館  
来場者 710人(2日間合計)  
内 容 毎年、6月の環境月間に合わせ、市民や市内で活動するグループが、さまざまな観点から環境問題についてアピールし、市民とともに考える場として、えべつ地球温暖化対策地域協議会との共催で開催。各出展団体による展示のほか、映画上映会、持続可能な江別について3人のパネラーと来場者がともに考えた「eトーク」、スタンプラリー抽選会などを行った。
  
3. 出前環境学校 【小学生向け】→8～10ページ  
実施期間 令和元年6月23日～令和2年1月15日  
実施回数及び参加者  
放課後児童クラブ等16施設16回(355人)  
+イベント3回(257人)、計612人  
内 容 環境ゲームや紙芝居を通して、エネルギー、環境保全、自然環境などを学ぶ出前環境学校を開催。事業の中で指導者(環境教育活動推進員)の養成を行った。
  
4. 「弁天丸・ボートで学ぶ石狩川と千歳川」【小学生向け】→11ページ  
と き 令和元年7月30日(火) 10:00～14:30  
ところ 江別河川防災ステーション、石狩川、千歳川  
参加者 公募の小学生(4～6年生)31人  
内 容 北海道開発局札幌開発建設部の調査船「弁天丸」で石狩川を調査するほか、千歳川でのボート乗船体験等を通して、ふるさとの自然やその歴史に触れることを目的とした企画内容。札幌開発建設部、一般財団法人石狩川振興財団の事業を活用して実施した。

5. 「水辺の自然塾」 【小学生向け】 → 12～14ページ

と き 令和元年8月6日(木) 9:10～15:25  
ところ 石狩川(市内篠津)  
参加者 公募の小学生(4～6年生) 32人  
内 容 魚とり・生物の観察・川流れ等を体験し、水辺の環境に触れ合う体験の中から自然の大切さを学んだ。

6. えべつ市民環境講座 【市民向け】 → 15ページ

「環境のこと もっと知ろう みんなで考えよう」をテーマに、令和元年度は、地球環境の変遷、ヒグマの生態、海洋プラスチック問題、フェアトレードの話題について専門家のお話を聞くとともに、見学会では昨年5月にオープンした話題のパン工房と昭和14年創業の煉瓦工場を訪ねるなど、さまざまな視点から環境について考える5回連続の講座を開催した。市民の環境保全意識の高揚を図るとともに、環境推進員の研修の場としても位置づけている。

第1回(8/28): 講座「地球環境の変遷と未来」(40人)  
第2回(9/4): 見学会【Pasco 夢パン工房、米澤煉瓦工場】(36人)  
第3回(9/25): 講座「野幌森林公園のヒグマについて考える」(36人)  
第4回(10/9): 講座「海と海洋生物の現状」(39人)  
第5回(10/23): 講座「持続可能な生産と消費」(31人)

※ ( ) 内の人数は各回の受講者数。

ところ 野幌公民館(第2回を除く)  
受講者 公募の一般市民延べ182人

7. 名木百選ウォッチング 【市民向け】 → 16～17ページ

と き 令和元年9月12日(木) 10:00～15:02  
ところ 市内一円  
参加者 公募の市民18人  
内 容 市内の保存樹木と指定樹木(保存樹木の候補木)8本を、専門の講師による解説も交えてバスと徒歩で見学した。

8. 「ソーラー発電教室」 【小学生向け】 → 18ページ

と き 令和2年1月10日(金) 12:30～16:30  
ところ 江別市環境クリーンセンター、江別ノーザンフロンティア発電所  
参加者 公募の小学生(4～6年生)52人  
内 容 地域の環境資源である江別ノーザンフロンティア発電所を活用し、太陽光発電施設の見学やソーラー工作キットを用いた実験を通してソーラー発電を体感し、地球温暖化問題や省エネの大切さを学んだ。同発電所を運営する(株)ノーザンフロンティアの協力により実施。

9. 出前ミニエコ講座 【市民向け】→19ページ

と き 令和2年2月12日(水) 14:00~15:00

ところ 子育て支援センターぼろっこ

参加者 0歳~就学前のお子さんの保護者4人

内 容 集合型講座になかなか出かけられない層を対象に、環境カウンセラーをお招きして「見つけよう!我が家に適した省エネ・節電」をテーマとして、主婦層(子育て世代)に身近な話題を中心とした講座を実施した。

10. 花のある街並みづくり講演会 【市民向け】→20ページ

と き 令和2年2月4日(火) 13:30~15:30

ところ 野幌公民館

参加者 公募の市民118人

内 容 花や緑をいかした様々な環境づくりに取り組み、北海道に魅力的な景観を生み出している笠康三郎さんを講師に迎え、「綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術」をテーマに、健全で美しい花の育て方や植栽術について講演していただいた。

11. その他 →21~24ページ

小学校の総合学習等における環境学習を支援するため、以下の出前授業メニューを市内の小学校に対して提供した。

①ごみ減量体験講座(買い物ゲーム)

②ソーラー発電出前教室

③「空中写真」を使用した出前環境授業

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [みどり](#) > 第44回市民植樹 を開催しました。

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [まちづくり・地域活動・国際交流・市後援名義](#) > [市民協働・市民活動](#) > 第44回市民植樹 を開催しました。

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [観光情報](#) > [イベント](#) > [蚤](#) > 第44回市民植樹 を開催しました。

## 第44回市民植樹 を開催しました。

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2019年5月27日更新

令和元年5月25日(土)、飛鳥山公園(緑町西2丁目11番地)で江別市と江別市民憲章推進協議会の共催、江別工業団地協同組合の後援で、第44回市民植樹を開催しました。

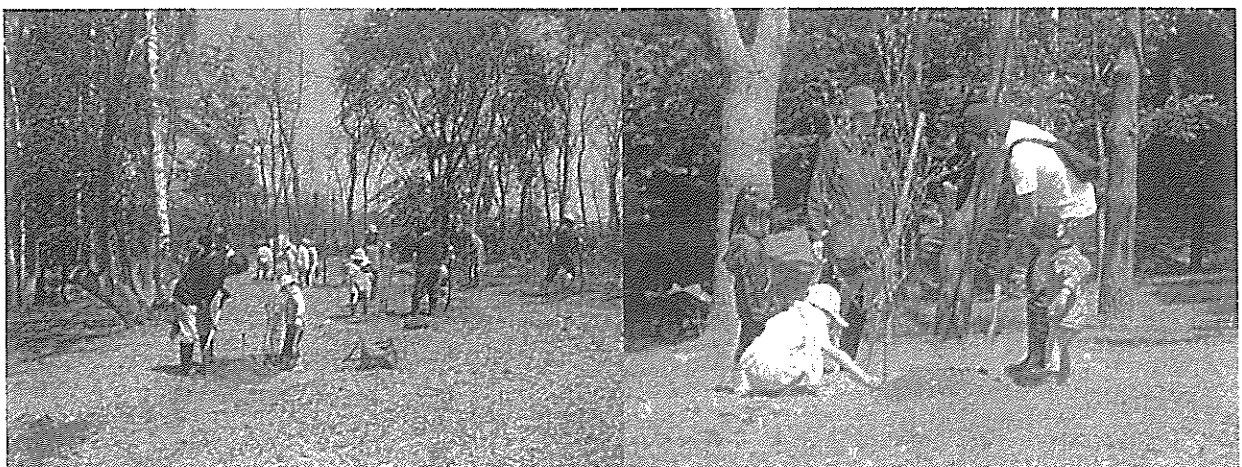
当日は、市長をはじめ市民121名が参加して、様々な木々を植樹しました。

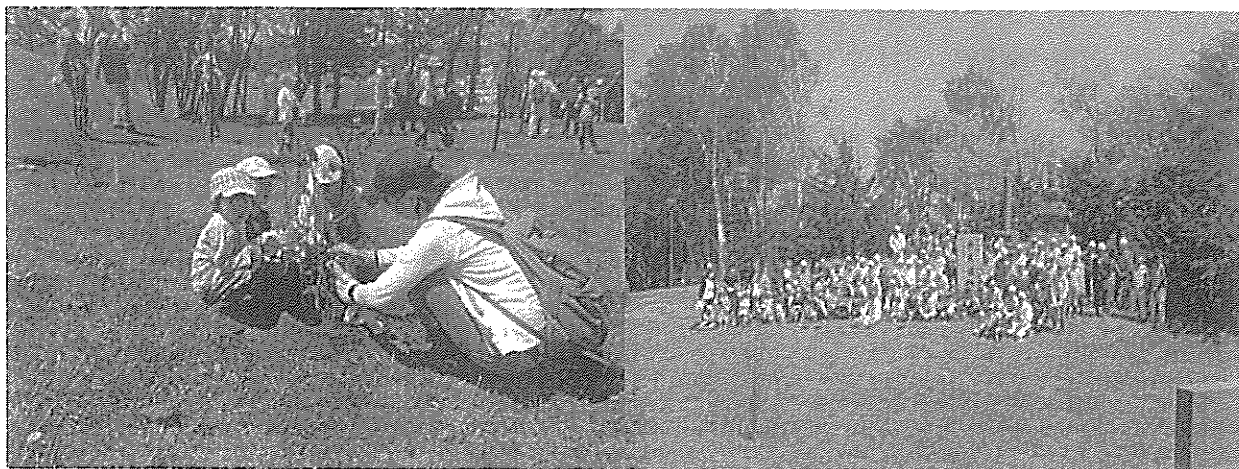
市民植樹は、緑豊かできれいなまちづくりと緑化の啓発を目的に実施しており、市の木を「ナナカマド」に制定した翌年の昭和47年(1972年)に第1回を実施したのが始まりで、数年中断した年もありましたが、今年で44回目となります。

当日は風が強かったものの快晴となり、皆さん楽しそうに植栽作業をしていました。

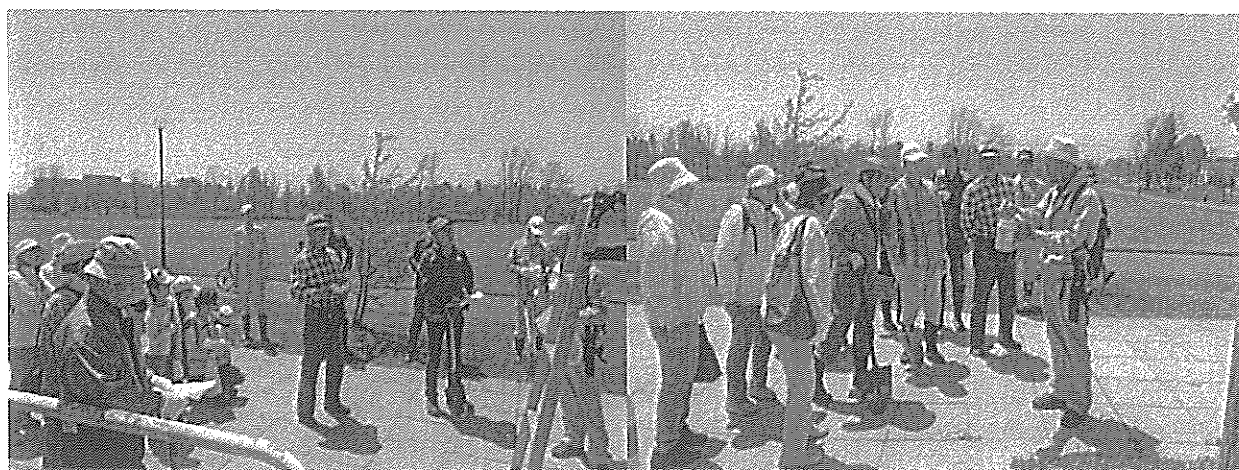


植樹した樹木は、飛鳥山公園を訪れた方が四季の変化を感じるよう選定した、エゾヤマツツジ6本、チシマザクラ9本、サラサドウダンツツジ4本、ヤマボウシ4本、アズキナシ3本、イロハモミジ3本、コナラ3本、ベニサラサドウダンツツジ2本、アオダモ2本、ヤマモミジ2本、コマユミ2本、コウヤマキ2本、エゾノコリンゴ2本、ジュンベリー2本、スモモ2本、ナナカマド1本、ブンゲンストウヒ1本の合計50本で、苗木や支柱について第14回ニトリ北海道応援基金の助成をいただいております。





また、植樹終了後は庭木のお手入れ講習会を行い、皆さん熱心に受講されていました。



植樹会場の「飛鳥山公園」は、明治11年から入植が始まった江別屯田の公有地で、江別屯田の熊本出身者が熊本武士の守護神である加藤清正公を飛鳥山に祀ったのが江別神社の前身の「飛鳥山神社」であり、飛鳥山には江別兵村開村記念碑が置かれています。

現在は野球、テニスなどが楽しめる公園となっています。

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > えべつ環境広場2019を開催しました!

## えべつ環境広場2019を開催しました!

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2019年7月18日更新

環境保全や地球温暖化防止について楽しみながら考えるイベント  
『えべつ環境広場2019』を開催し、約710名の方にお越しいただきました。  
ご来場いただき、誠にありがとうございました。

日時:6月22日(土曜日)10時00分～20時00分 / 6月23日(日曜日)10時00分～16時00分

会場:野幌公民館

来場者数:710人

主催:えべつ地球温暖化対策地域協議会 <http://ebetsu-earth.net/>

共催:江別市

後援:北海道、(公財)北海道環境財団、江別市教育委員会、環境省北海道環境パートナーシップオフィス

出展団体	主な出展内容
江別市企画政策部都市計画課	パネル展示(江別市都市景観賞の開催案内 他)
江別市水道部	利き水体験 他
江別市生活環境部環境室環境課	パネル展示(海洋プラスチック問題について 他)
江別市生活環境部環境室廃棄物対策課	食材使い切りレシピ講習会
江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会	ひまわりの舎(野菜やジャムの販売)、ふたりのマルシェ(野菜の販売)
江別消費者協会	手作りミニ体験、紙芝居 他
えべつ地球温暖化対策地域協議会	体験イベント(こむぎ粘土で作ってみよう!）、スタンプラリー 他
江別友の会	カレーセット、ケーキやコーヒーの販売
NPO法人えべつ協働ねっとわーく	出前環境学校
NPO法人北海道環境カウンセラー協会	実験教室(二酸化炭素はどんなもの?)
NPO法人北海道グリーンファン	体験学習(夏至の日は冷蔵庫の日)
王子エフテックス(株)江別工場	体験学習(紙すき体験)
(公財)北海道環境財団	体験学習(環境ゲームで考えよう! ほくの わたしの できること)
合同会社森のピタゴラス	体験学習(森のピタゴラスで遊ぼう!)
コミュニティ・カフェ笑くぼ	パンやコーヒーの販売
生活協同組合コープさっぽろエコセンター	ワークショップ(森の守り神・フクロウをつくる) 他
生活クラブ生活協同組合江別支部	パネル展示(石けん生活はじめませんか?)
日本CCS調査(株)苫小牧事務所	パネル展示(CCSの仕組み) 他
パンダクラブ北海道	パネル展示(海洋を汚染するプラスチックごみ 他)
フォーラム野幌の森	パネル展示(マナーを守って未来にのこそう!野幌森林公園)
北海道環境生活部環境局	水素を燃料とする燃料電池自動車「MIRA」の展示



出展団体	主な出展内容
北海道情報大学(渡部・柿並・佐藤研究室)	体験学習(情報大の宇宙ひろば)
北海道電力(株)総合研究所	体験学習(ほくでん「エネゴン」号)
北海道野幌高等学校科学部	植物や昆虫の展示(屯田兵村林での調査活動)
木工房江建社	ワークショップ(大工のゆうさんと小さなお家を作る!)
有限会社三素	自然エネルギー関連機器の展示
酪農学園大学環境GIS研究室	体験学習(空から見た江別の変化をみてみよう!)
リンクアス&EnVision環境保全事務所	体験学習(観てみよう!さわってみよう!身近にいる動物たち)

講演会(講師/パネラー)	テーマ
有限会社三素 代表 家次 敬介 氏	身近な自然エネルギーについて
パンダクラブ北海道 代表 長屋 貞夫 氏	みんなで考えよう!海洋を汚染するプラスチックごみ
北海道地球温暖化防止活動推進員 同崎 朱実 氏/防災士 大浦 宏照 氏/江別市総務部危機対策室 菅野 直人 氏/有限会社三素 代表 家次 敬介 氏	防災・減災と3エネ(創エネ・畜エネ・省エネ)から持続可能な江別を考える

映画

「おだやかな革命」 監督・編集:渡辺智史 ナレーション:鶴田真由 配給・製作:有限責任事業組合いでは堂  
2017年/日本/100分



環境室環境課 代表

〒067-0051 北海道江別市工業町14番地の3  
Tel:011-381-1019 Fax:011-382-7240



[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > 令和元年度の「出前環境学校」を実施しています

## 令和元年度の「出前環境学校」を実施しています

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2019年9月10日更新

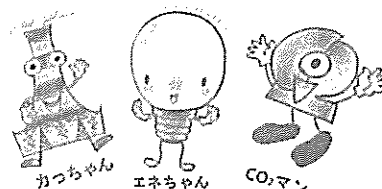
「出前環境学校」は、江別市環境教育活動推進員の活動として、江別市内の放課後児童会などの施設に通う児童を対象に環境学習プログラム(ゲーム・クイズなど)を実施し、活動を通して環境にやさしい行動のきっかけづくりを応援しようとするもので、NPO法人えべつ協働ねっとうわーくが市から委託を受けて実施しています。

今年度のプログラムは、「でんきのおはなし」です。電気を使うことの大切さ、節電の大切さについてゲームや絵本で楽しみながら学んでもらうというものです。

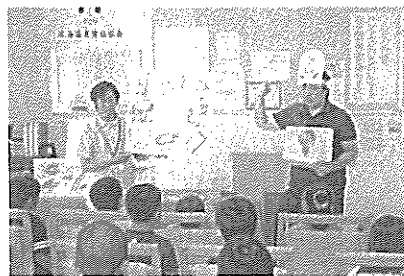
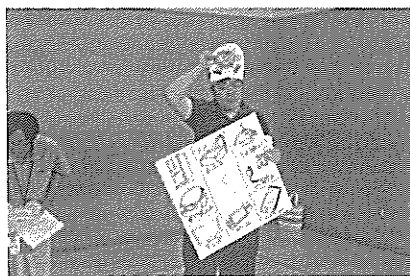
はじめに、昨年の地震で停電となり電気がなくて困った体験をもとにみんなで電気の使い方を考えていきます。



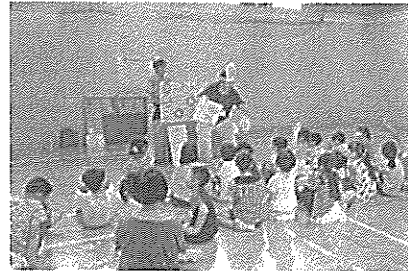
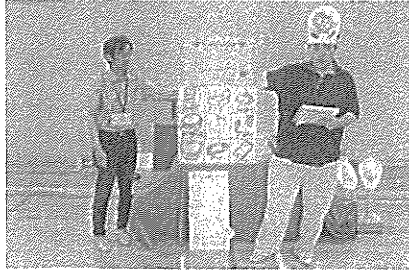
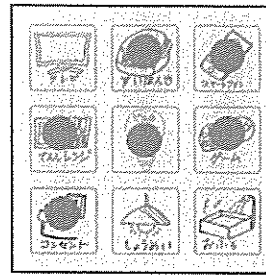
つぎに、でんきのキャラクター「エネちゃん」と仲間の「カッチちゃん」「CO2マン」がでてくるペープサートで、子ども達にもわかりやすく『地球温暖化』にもふれて電気がどのように作られているかお話をします。



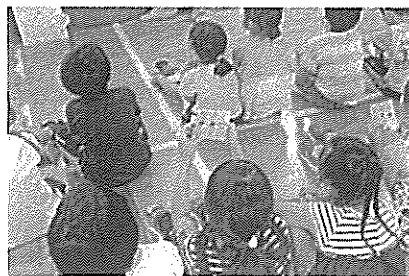
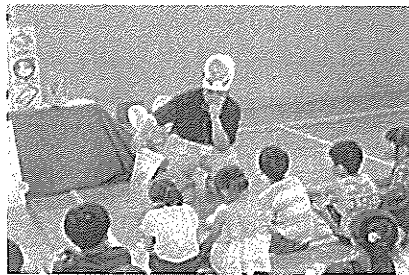
そして「CO2マン」が特大ピンゴを持って登場し、みんなが出来る節電を考えながらピンゴゲームを楽しみます。



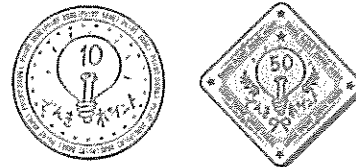
このピンゴはでてきた家電にシールを貼り、その家電の電気の使い方について考えます。



電気を使いすぎるのはどんな時かな？みんなで一緒に考えます。

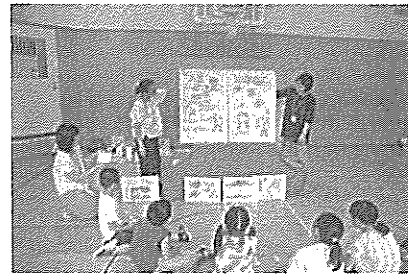
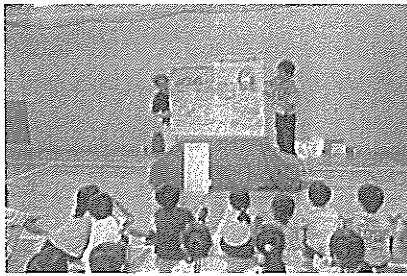
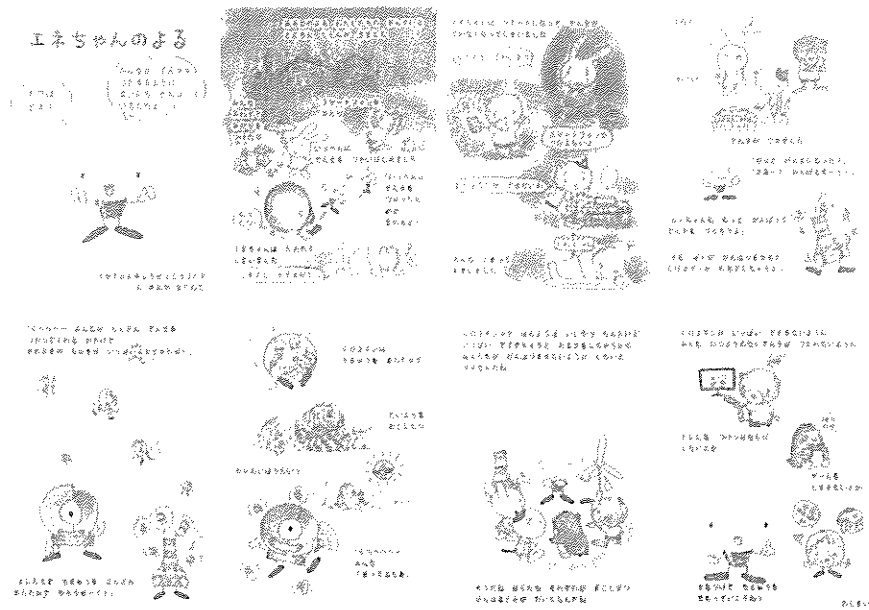


ポイントコイン

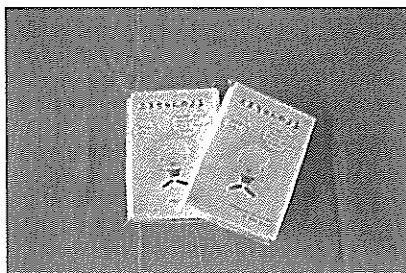
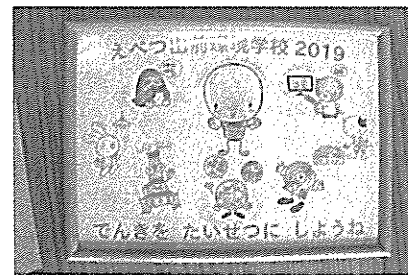


日常どれだけ電気に頼っているか、電気が使えない生活はどれだけ困るのか、これからどのように節電に取り組むかなど自分たちの考えを発表して、ポイントコインをたくさん集めます。はずかしくてなかなか発表できない児童にも、使っていない電気を消すなどこれからできることを確認してポイントコインを渡します。

そして、電気に関する手づくりの特大絵本『エネちゃんのよる』を読み聞かせします。



さいごに、電気を大切に使うために日常生活の中ですぐ出来ることは何かをたくさん学んだ児童たちに、節電に必要な行動を忘れないでいてほしいというメッセージボードと、『エネちゃんのよる』のミニ絵本がはいったティッシュが贈られます。



今年度の出前環境学校は市内児童センター、児童会など17の児童施設で実施します。

環境室環境課 環境保全係  
〒067-0051 北海道江別市工栄町14番地の3

# 「弁天丸・ボート」

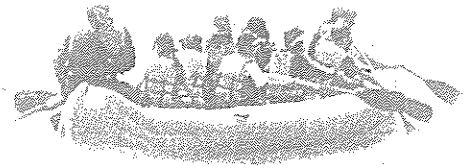
で学ぶ

# 石狩川と千歳川！

ちょうさせん べんてんまる  
調査船「弁天丸」と手漕ぎボートに乗って石狩川や千歳川を観察したり  
いしかりがわ ちとせがわ かんさつ  
川や自然の大切さ、江別市の歴史などにふれてもらうイベントです  
れきし  
皆さまのご参加をお待ちしています！

にちじ

日時：令和元年7月30日(火)



じかん

時間：10時00分～14時30分まで(予定)

かいじょう

えべつかせんぼうさい  
会場：江別河川防災ステーション(大川通6)

たいしょう

対象：小学4年生～6年生(先着32名)

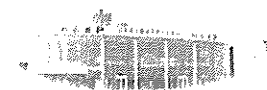


参加される皆様へ

- ①持ち物：筆記用具、タオル、飲料水、  
昼食、防寒具や雨合羽(天候により)、  
アゴ紐のついた帽子  
※水に濡れることがあるため、ご心配な方は着替えも。
- ②動きやすく汚れても良い服装と運動靴で  
ご参加ください。
- ③体験の様子をホームページ等で公開  
させていただきます。
- ④悪天候の場合は8月2日(金)に順延。

<申し込み・お問い合わせ>

7月8日(月)～7月19日(金)の間に  
参加者の保護者様が江別市役所 環境課  
TEL：011-381-1019  
に電話でお申し込みください



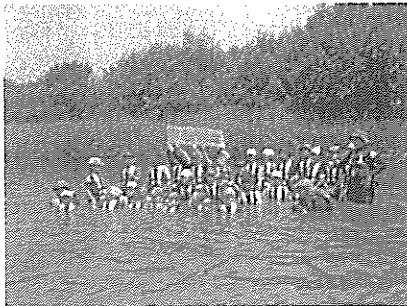
[トップページ](#) > [組織・課名でさがす](#) > [環境室環境課](#) > 令和元年度 夏休み環境学校「水辺の自然塾」を開催しました。

## 令和元年度 夏休み環境学校「水辺の自然塾」を開催しました。

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2019年10月7日更新

### 水辺の自然塾

夏休み環境学校「水辺の自然塾」を、令和元年8月6日(火曜日)に市内篠津の石狩川で開催しました。



水辺の自然塾は、郷土の水辺の生きものの調査を体験することで、川に住むさまざまな生きものことや水の大切さ、自然の楽しみ方を学ぶ教室です。

一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長を講師に迎え、小学校4～6年生を対象に、平成21年度から実施しています。

10回目となる今年の自然塾は好天に恵まれ、参加した32人の児童たちは川の中で元気に調査を行い、水辺の自然を満喫したようでした。

(この事業は、江別環境整備事業協同組合様からの寄付金を活用させていただき、実施しました。)

#### 開塾式

朝9時過ぎに市民会館前庭(市役所本庁舎前)で開塾式を行いました。



塾長である三好昇江別市長からは、江別市には大小42もの川があり、その中の一つである石狩川での学習を通じて、自然の豊かさや大切さを学ぶとともに、その自然を守るにはどうすればよいのかを考えてみてほしいとの挨拶がありました。

その後、妹尾所長から水辺の自然塾について説明があり、川の中で安全に調査を行うことについて参加児童と確認しました。

開塾式終了後、参加児童は保護者の皆さんのお見送りの中、貸切バスで市内篠津の石狩川の実施場所に向かいました。

#### 石狩川での体験学習

石狩川に到着後、妹尾所長らスタッフの指導のもと、初めにごみ拾いを行い、その後、ライフジャケットを着用して川に入り、網を持って水辺の生きものの採集に挑戦しました。





この日は、コイのほか、スジエビ、ウグイ、ヌマチチブなど、たくさんの生きものが姿を見せてくれました。水辺の生きものを採集した後は、川流れ体験を行いました。当日は日差しが強く暑い日でしたが、参加した児童たちは楽しそうに水に体を浮かべていました。



#### 魚の図鑑づくり

午後は江別市都市と農村の交流センター「えみくる」に移動し、昼食の後、石狩川で採集した生きものについて妹尾先生が説明しました。みんなで観察し、それぞれが絵を描いて自分だけの魚の図鑑を作りました。



閉塾式の後、皆で会場の後片付けをして、貸切バスで市役所へ戻り、解散。予定どおり全日程を無事故で終えることができました。

水辺の自然塾は、経験豊富な川の専門家の指導のもと、普段はなかなかできない貴重な体験ができるイベントです。参加した児童は、石狩川には予想以上に多くの生きものが生息していたことに驚くとともに、それらを実際に採り、また川の流れを体感したことに喜びを感じていたようです。

来年も実施を予定しています。小学校4年生から6年生のみなさんの参加をお待ちしています！

環境室環境課 環境保全係  
〒067-0051 北海道江別市工業町14番地の3  
Tel:011-381-1019 Fax:011-382-7240  
[お問い合わせはこちら](#)



# えべつ市民環境講座(ご案内)

～環境のこと もっと知ろう みんなで考えよう～

地球環境の変遷、ヒグマの生態、海洋プラスチック問題、フェアトレードなど幅広い観点から身近な環境について考える5回連続講座。見学会では、昨年5月にオープンした話題のパン工房と昭和14年創業の煉瓦工場を訪ねます。

- ◇期 間 令和元年8月28日(水)～10月23日(水)、5回シリーズ
- ◇会 場 江別市野幌公民館(江別市野幌町13-6、電話382-2414)など
- ◇受 講 料 無料、第2回見学会のみバス代800円(当日徴収)。
- ◇定 員 各回40人(先着順)。
- ◇申 込 み 8月7日(水)から電話(381-1019)で江別市環境課まで  
※できれば5回すべてにご参加いただきたいですが、1回のみでも受講可能です。お気軽にお電話ください。

◇内 容

回	日時・場所	テーマ・講師	内 容
1	8月28日(水) 14:00～15:30 野幌公民館 [研修室3・4号]	地球環境の変遷と未来 ～金星や火星に人は住めるか?～ 渡部 重十 氏 北海道情報大学 経営情報学部教授 /宇宙情報センター長	46億年前から現在までの地球環境の変遷、そして温暖化の影響による50年～100年後の未来について、地球の隣の惑星である金星や火星と比較してお話します。
2	9月4日(水) 9:45～12:15 [市内2事業所]	見学会 ① Pasco 夢パン工房 ② 米澤煉瓦工場	昨年5月に西野幌にオープンした話題のパン工房と昭和14年創業の米澤煉瓦工場を見学します。 ※9:35までに江別市民会館正面玄関前に集合
3	9月25日(水) 14:00～15:30 野幌公民館 [研修室3・4号]	野幌森林公園のヒグマについて考える 佐藤 喜和 氏 酪農学園大学 農食環境学群環境共生学類教授/野生動物生態学研究室	北海道の市街地にヒグマが頻繁に出没しています。野幌森林公園でも78年ぶりに目撃されました。ヒグマを取り巻く環境に何が起きているのか、その生態や習性と正しい付き合い方についてお話します。
4	10月9日(水) 14:00～15:30 野幌公民館 [研修室3・4号]	海と海洋生物の現状 ～気候変動と海洋プラスチック問題～ 笹森 琴絵 氏 酪農学園大 特任准教授 東海大学生物学部 非常勤講師 日本クジライルカウォッチング協議会 会長	北海道近海に来遊する鯨類の生態系やそれを支える海洋環境、海と海洋生物の現状(気候変動、海洋プラスチック問題)や市民レベルの対策についてお話します。
5	10月23日(水) 14:00～15:30 野幌公民館 [研修室3・4号]	持続可能な生産と消費 ～フェアトレードの事例から～ 橋長 真紀子 氏 札幌学院大学 経営学部教授 /国際交流センター長	国連が掲げた「持続可能な開発目標」(SDGs)のひとつ、「つくる責任 つかう責任」、企業の責任ある生産活動と消費者の責任ある行動についてお話します。また、札幌学院大学におけるフェアトレードの取り組みやゼミ生による研究成果を紹介します。

<江別市環境課/環境保全係>

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > 令和元年度「名木百選ウォッチング」を開催しました

## 令和元年度「名木百選ウォッチング」を開催しました

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2019年9月18日更新

### 令和元年度「名木百選ウォッチング」を開催しました

令和元年9月12日(木曜日)、今年は18名の方にご参加いただき、江別市内の名木を巡る「名木百選ウォッチング」を開催しました。

江別市では現在、91本の「保存樹木」、17本の「指定樹木(保存樹木の候補木)」を指定しています。

今年は、旧町村農場、千古園、江別第二小学校など市内8か所を巡り、北海道大学大学院地球環境科学研究院の大原雅教授の解説で、8本の名木を見学しました。

当イベント前日は酷い雨でしたが、当日は、幸運にも天気に恵まれ、江別の身近な自然の美しさを感じる1日となりました。

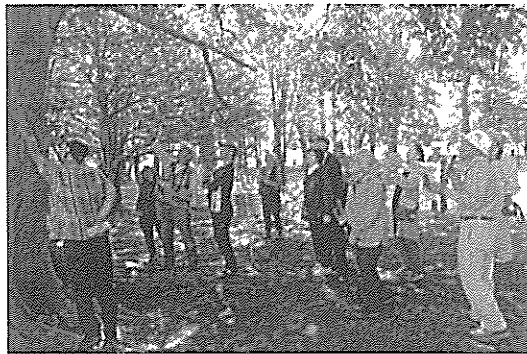
なお、来年も名木百選ウォッチングを開催予定ですので、ぜひ皆さまのご参加をお待ちしております。



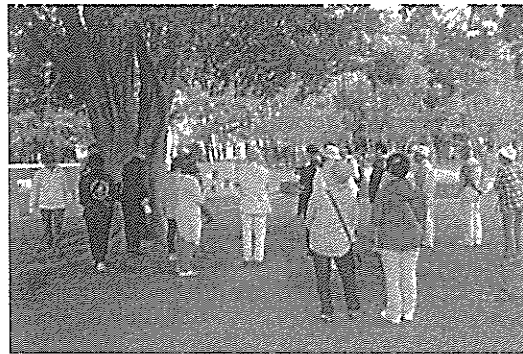
旧町村農場 イチョウ



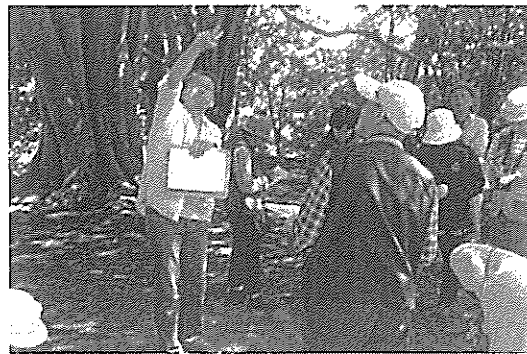
越後神社 ハルニレ



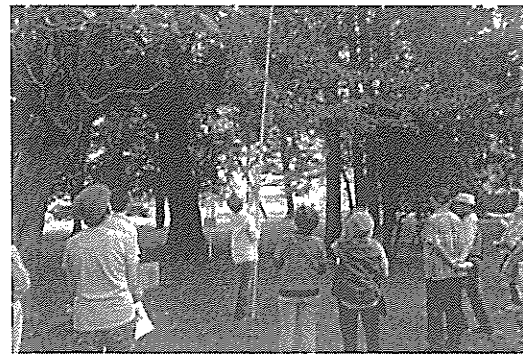
千古園 ブナ



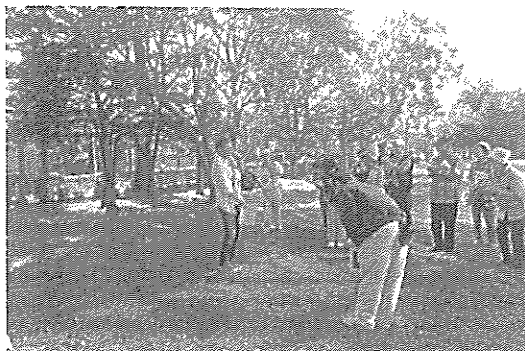
大麻東公園 ケヤキ



樹木の解説をする大原先生



樹高を測る大原先生



環境室環境課 自然環境担当

〒067-0051 北海道江別市工業町14番地の3

Tel:011-381-1046 Fax:011-382-7240

[お問い合わせはこちらから](#)

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > [ソーラー発電教室を開催しました](#)

## ソーラー発電教室を開催しました

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2020年1月16日更新

令和2年1月10日金曜日に市内の小学校4～6年生を対象に「ソーラー発電教室」を開催しました。

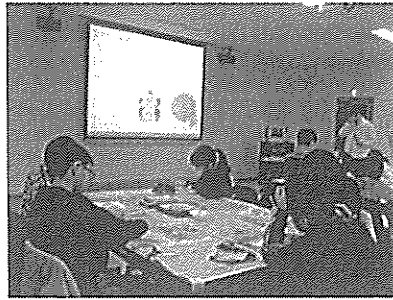
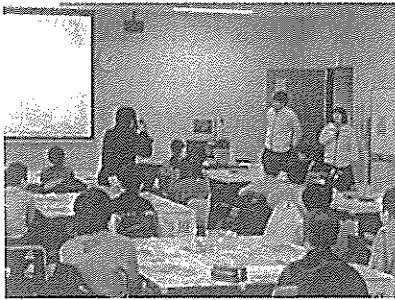
この教室は、小学校の冬休み期間を利用して、体験型の環境学習の場を提供しようというもので、江別市環境クリーンセンター敷地内の江別ノーザンフロンティア発電所を運営している、株式会社ノーザンフロンティアの協力により実施しています。

前半では「地球温暖化」について学習し、エネルギーを節約するためにどんなことができるかなどについて、参加者全員で考えました。また、現在稼働している様々な発電方法や、そのなかで地球温暖化を防ぐにはどのような方法があるのかについて学習しました。

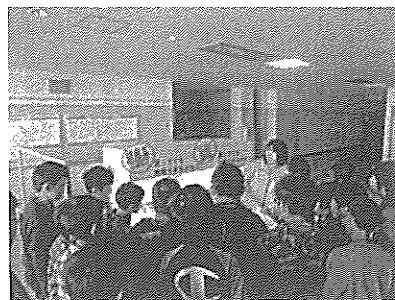
その後、環境クリーンセンター3階から、江別ノーザンフロンティア発電所を見学しました。児童たちは、発電所にあるソーラーパネルの枚数や、季節による発電量の違いなどの説明に興味深く聞いていました。

授業の後半では、太陽光で発電し、暗くなると光る「ソーラーエコライト」の工作にチャレンジしました。児童たちは、好きな色を塗ったり、シールを貼ったりして、自分だけのソーラーエコライトを作りました。

アンケートでは、「地球温暖化のことがよく分かった」、「工作が楽しかった」などの意見がありました。



講師による地球温暖化や再生可能エネルギーについての授業



江別ノーザンフロンティア発電所・環境クリーンセンター内を見学する参加者



ソーラーエコライトの工作実験

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > 令和元年度出前ミニエコ講座を開催しました

## 令和元年度出前ミニエコ講座を開催しました

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2020年3月6日更新

市では、普段講座などに参加しにくいという方を対象に、「出前ミニエコ講座」を開催しています。

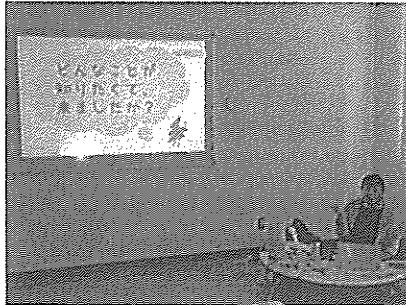
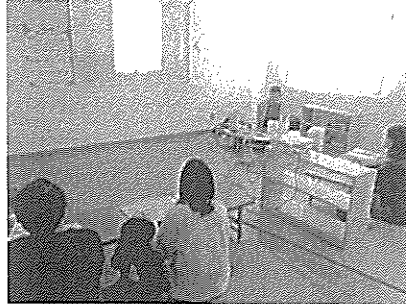
今年度は、令和2年2月12日(水曜日)に「子育て支援センターすくすく」で開催し、当日は託児を行い、就学前のお子さんがいるお母さん4名が参加しました。

講座の冒頭では、講師の岡崎朱実さん(環境カウンセラー)が、受講者に対して講座の中で聞いてみたいことをインタビューする時間があり、受講者の皆さんからは、「家計に占める電気代の割合を減らしたい」など、さまざまなご要望をいただきました。

講座では、家電の使用における節電・省エネ方法などについて、クイズを挟みながらの説明や、加湿器などの電気器具がどのくらい電力を消費しているのかを「ワットモニター」を用いて計測するなど、講師との対話を踏まえて、受講者が節約方法やエコ生活について考える講座となりました。

説明終了後は、受講者の皆さんからの質問に講師が回答する時間を設け、受講者の皆さんからは、具体的な電気の使用状況や節電方法、料金プランなどについて、多くの質問をいただきました。

受講された方々は、日頃から関心はあっても、なかなかこのような講座に参加しにくい、という子育て世代のお母さんで、アンケートでは「毎日の使用電力を意識して行動したいです。」「小さなことをいろいろやっていましたが、まだまだあると感じました。」など、たくさんのご感想をいただきました。



環境室環境課 環境保全係

〒067-0051 北海道江別市工業町14番地の3

Tel:011-381-1019 Fax:011-382-7240

[お問い合わせはこちら](#)



# 花のプロから学ぶ 綺麗な花の育て方と街を彩る植栽術

令和2年 2月4日〔火〕

午後1時30分～3時30分

有限会社 緑花計画 代表取締役

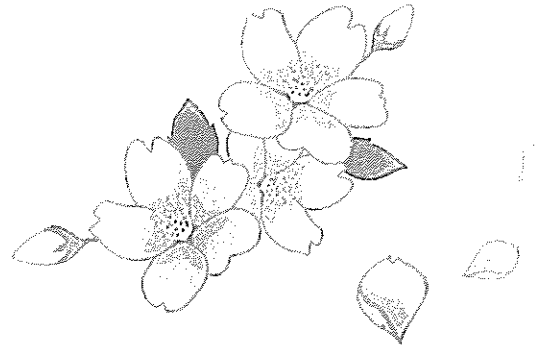
## 笠 康三郎 氏

### ◆プロフィール

愛媛県松山市出身

園芸から造園、緑化から植生保全、まちづくりから人づくりまで、幅広く緑づくりや花づくりの活動を全道的に展開。

そのほか、北海道大学農学部 非常勤講師、北海道フラワーマスター認定講習会講師、大通花壇コンクール審査員等の公職を務め、滝野公園カントリーガーデンや、旭川北彩都ガーデン、大雪森のガーデン、十勝ヒルズなどの整備を手がけている。



花と緑があふれる美しい街並みは、街を鮮やかに彩り、住む者の心を和ませるだけでなく、訪れる者に明るく活気のある印象を与えてくれます。

今回は、花や緑をいかした様々な環境づくりに取り組み、北海道に魅力的な景観を生み出している、**笠康三郎**さんを講師にお招きし、健全で美しい花の育て方や植栽術について、ご講演いただきます。

場所：野幌公民館ホール（野幌町13-6）

費用：無料（先着100名様まで）

申込：1月6日(月)～1月31日(金)の平日9時00分～17時00分に  
下記連絡先まで



江別市民憲章推進協議会事務局（江別市役所環境課）

電話：(011)-381-1046

FAX：(011)-382-7240



## ごみ減量体験講座「買い物ゲーム」の概要

### 1. 対象人数・チーム構成

標準的に、児童5～6人を1チームとして、6チーム35人程度で実施しますが、実施小学校の児童数などの状況に合わせて工夫し実施します。

### 2. 実施教室

模擬店を展開することから、理科室、家庭科室、音楽室など広めの教室が適していますが、教室の広さ等に応じ工夫して実施します。

### 3. 実施内容(例)

- ①カレーライスを作ることを想定し、レシピに沿って模擬店で材料や飲み物を買います。
- ②予算は1500ポン(ゲームの中でのお金の単位)、おつりが多いチームが勝ち。
- ③買い物をしてレジで精算し、おつりが多いチームが勝ち！  
ところが、・・・
- ④買い物から出たごみをチームごとにチェックします。  
容器や包装などを分類し、それぞれ処理費用を計算し、もう一度、残金を計算します。

▼学習は、模擬店での買い物から始まります。



- ⑤おつりからごみ処理費を払って、残金の多いチームが本当の勝ち。

-----<休み時間>-----

- ⑥1時間目の学習から、ごみを少なくする方法についてチームで話し合います。
- ⑦チームで考えた方法を発表し、クラスで共有します。
- ⑧みんなで考えた方法を踏まえて、もう一度買い物ゲームにチャレンジ。ごみを減らす工夫の実行リストを作成し、それに沿ったかしこい買い物をします。
- ⑨それぞれのチームごとに、ごみ処理費が1回目とくらべどれだけ減らせたかを比較し、成果を実感します。
- ⑩この段階になると、子どもたちの関心はゲームの勝ち負けを超え、ごみを減量する生活そのものに向いています。買い物ゲームは勝ち負けを競うのではなく、ゲームを通してごみの種類や分別方法、処理のしくみとともに、ごみを少なくする生活の工夫を児童自らに考えさせるプログラムです。

### 4. 授業の流れ(2時限)

1 時 限 目		2 時 限 目
↓ テーマ・ルール説明	休 み 時 間	↓ ごみを減らす工夫を皆で考え、
↓ 模擬店お披露目		↓ 発表して、クラス全体で共有
↓ チームごとに買い物の作戦会議		↓ 上記を参考に、第2回目買い物の作戦会議
↓ 第1回目買い物		↓ 第2回目買い物
↓ 各チームのおつり集計・発表		↓ 各チームのおつり集計・発表
↓ ごみ処理にかかる費用に気づき		↓ 第1回目のそれと比較して、工夫の効果を 実感
↓ 江別市のごみ収集・処理のしくみ		↓ 家に帰って家族と話し合う & 普段の生活で の実践を約束
↓ 収集・処理のどこにどんなお金がかかっているか		
↓ 各チームのごみ処理費集計・発表		



# 2019年 買い物ゲーム実施表

学校名	校長名・担当教師	実施日	日課	学年	組	児童数	教室
1 江別太小学校	加賀谷 隆 谷内 仁美	6月 24日(月)	3・4	4	1	32	図工室
			5・6	4	2	33	
2 中央小学校	加藤 理恵 三田村 要	6月 27日(木)	3・4	4	1	31	理科室
			5・6	4	2	30	
3 東野幌小学校	高橋 秀明 三浦 晋	7月 5日(金)	3・4	4	1	34	大会議室
			5・6	4	2	34	
4 大麻東 小学校	福田 幸一 藤原 舞子	7月 12日(金)	3・4	4	1	25	集会室
			5・6	4	2	26	
5 北光 小学校	生田康人・半澤	7月 17日(水)	3・4	5.6	1	8	音楽室
6 大麻 小学校	安部 紀江 山本 麻千子	7月 19日(金)	3・4	3	1	30	図工室
			5・6	3	2	30	
7 上江別 小学校	松井 卓 瀬野 裕子	8月 27日(火)	1・2	4	1	36	理科室
			3・4	4	2	36	
			5・6	4	3	36	
8 大麻西 小学校	鎌田 俊博 杉下 栄三	8月 29日(木)	3・4	4	1	30	視聴覚室
			5・6	4	2	27	
9 野幌 小学校	橋本由美・大槻	9月 6日(金)	3・4	4	1	10	ホール
10 文京台小学校	籠島裕二・佐々木健	9月 9日(月)	3・4	3	1	31	図工室
11 豊幌 小学校	岩倉隆・谷島公美	9月 20日(金)	3・4	4	1	23	図工室
12 いずみ野小学校	波津雅俊・川野博	9月 25日(水)	3・4	4	1	28	多目的室
13 大麻泉小学校	加藤広子・松田	10月 1日(火)	3・4	4	1	35	理科室
14 江別第二小学校	野尻 一裕 内倒裕一	10月 3日(木)	1・2	3	1	31	多目的室
			3・4	3	2	31	
			5・6	3	3	31	
15 対雁 小学校	佐藤秀人 佐藤好朗	10月 8日(火)	1・2	4	1	35	多目的室
			3・4	4	2	34	
			5・6	4	3	35	
16 野幌若葉小学校	高田 哲也 横山 恵毅	12月17日(火)	3・4	3	1	30	理科室
			5・6	3	2	30	

16校実施

29 回

862 名

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > 令和元年度の「ソーラー発電出前教室」を実施しました

## 令和元年度の「ソーラー発電出前教室」を実施しました

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2020年3月13日更新

江別市では、希望のあった小学校で「ソーラー発電出前教室」を行っています。

これは、市と環境学習に係る協定を締結している株式会社ノーザンフロンティアの協力により実施しているものです。

この教室では「地球温暖化と太陽光発電を知ろう」をテーマに、実際に太陽電池を使用した実験を通して、地球温暖化と太陽光発電について興味や関心を持ってもらうことを目的としています。

理科室等で1時限分の授業時間を使い、楽しく地球温暖化問題と太陽光発電のしくみ、太陽電池と光の関係などについて学びました。

令和元年度は、9校17クラス 490人の児童が授業に参加しました。

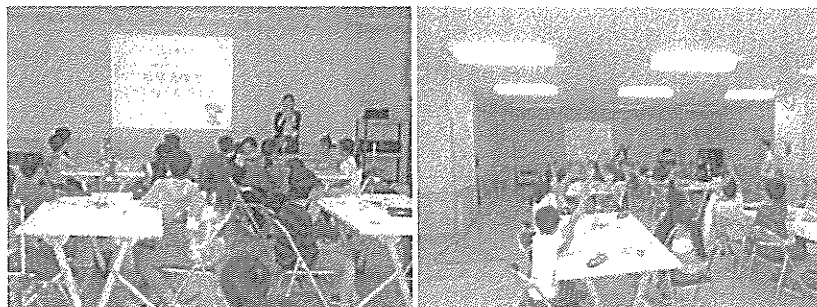
授業ではまず、ビデオやスライドを使い、グループワークを取り入れながら、地球温暖化問題のメカニズムや原因、太陽光発電の特徴としくみなどについて学習し、その後、実験キット(太陽電池で動くプロペラ)を実際に使い、太陽光に見立てた白熱灯の光の当て方による発電の変化などを調べる実験を行いました。

児童はグループ内で相談をしたり感想を述べあったりしながら、みんなで楽しく地球温暖化問題などについて学び、実験からわかったことや感じたことを「まとめシート」に記入して、気づいたことを積極的に発表していました。

子どもたちからは、地球温暖化防止のために「見ていないテレビのスイッチや、使っていない部屋の電気を消す」、「テレビゲームをする時間を減らす」、「近くに行くときは車ではなく自転車を利用する」など、自分や家族が取り組める普段の生活を意識した意見が寄せられました。

地球温暖化防止や省エネルギーのために、これから自分たちができることを、しっかりと考えるきっかけになったようです。

= 授業の様子 =



環境室環境課 環境保全係

〒067-0051 北海道江別市工業町14番地の3

Tel:011-381-1019 Fax:011-382-7240

[お問い合わせはこちら](#)

[トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [くらしの情報](#) > [自然・環境・公園](#) > [環境学習](#) > 令和元年度の「空中写真」を使用した出前環境授業を実施しました

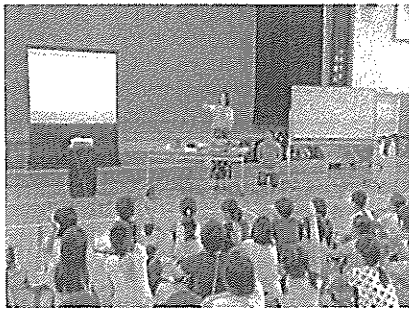
## 令和元年度の「空中写真」を使用した出前環境授業を実施しました

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2020年3月13日更新

この出前授業は、平成22年度から市内小学校の環境学習の中で実施しているもので、酪農学園大学環境GIS研究室が作成した1947年(昭和22年)版、1976年(昭和51年)版、2016年(平成28年)版の、縦4メートル×横4メートルの江別市全域の巨大空中写真から江別市の環境や地形の変化、歴史などについて学ぶものです。

令和元年度は、9校17クラス 525名の児童が授業に参加しました。

### 今年度の実施の様子



この授業は、プログラムの構成から学校との打ち合わせ、授業の実施までを酪農学園大学環境GIS研究室の学生が取り組み、実施しています。

授業では、あらかじめ決めておいたテーマ(「生き物のお家探し」、「水はどこから」、「江別市の歴史を知ろう」のいずれか)に基づいたプログラムを行います。

その後、3つのグループに分かれ、グループごとに異なる3つの年代のまちの姿を撮影した空中写真やポスターを見て、気付いた点をワークシートに記入します。

参加した児童は、過去から現在まで、自分たちが住んでいる地域の様子を上空から見るのできる空中写真に、興味津々の様子でした。

また、地図の上を歩きながら江別の風景を空から眺めて、自分の家や自分の通っている小学校を見つけたり、年代ごとの川幅を比べたり、昔あった滑走路を懸命に探す児童もいました。最後のまとめの時間では、空中写真を見た感想や気付いた変化などについて発表してもらいます。

児童は、「昔に比べて家がかなり増えた」「川の幅が広がっていった」「森林公園の広さが昔と今で変わっていた」など、身近な環境の変化で発見したことを元気に発表していました。最後に、司会の学生が児童から出た意見をまとめて解説をしました。

環境空環境課 環境保全係  
〒067-0051 北海道江別市工栄町14番地の3